

2021/9/4-3

(オマケの英語教室 once more again, the word "charming" ) 書庫版



以前にも題材に致しましたが、今日も又その charming.

Charming の邦訳は「チャーミング」

どうやらピタリと合う言葉が見つからなかったようです。

しかし、それでも無理矢理訳すとなると一般的には「かわいい」と言うのが多いようですが、自分はこれに

「お茶目な」

と言う訳語を当てております。

多分 charming を日本語で書いた「チャーミング」の「チャ」を見て「茶」を連想したのだと思います。

話は変わりますが、自分が今までであった女性の中でこの「チャーミングさ」を感じた人は二人おりました。

いずれも若い人ではありませんでしたし、日本人だけでもありませんでした。

なので「かわいい娘さん」ではなく「茶目っ気のある女性」と言うことになります。

それではこの二人の何にお茶目を感じたかというと、

まず、反応が早いこと

次に、その反応がどんな小さな事にも必ず毎回かえってくること

更に、そのリアクションに作為が感じられないこと

そうして最後に、その仕草や表情が「なんとも言えない」こと。

なんとも言えない「お得感 (得した気分になれる)」が感じられること。

言い方を変えると

「大人なのにこんなに無邪気な奴がいるんだあ」

でしょうか。

思わず微笑んでしまうような、それ。

小刻みにアタマを横に振って、一言言う言葉

「参るわぁ」

上述の「無邪気」というのは書いて字の如く「邪気が無い」事。

邪気とは「裏」の事で「裏が無い」と言うことでしょう。

言い換えれば「(掛け値無し)そのまんま」

ですので、誤解を恐れなければ

You are so, so, charming!!

と言ったら邦訳は

「おまえ、ほんまに、そのまんまなんやなぁ@@;」

とでも。

因みに調べてみたところ「茶目」は全部当て字の様で「目」は「女(め) = 女性」と分かりましたが「茶」の方はいまひとつ何のことだか判然としませんでした。

そこで推論。

ずいずいずっころばし胡麻味噌ずい。茶壺に追われてトッピンしゃん。抜けたらドンドコしょ、に出てくる「茶壺」の「茶」

と

「茶々を入れる」の「茶々」から連想して

「いたずらっぼい」

を当てはめてみました。

となると「お茶目な女性」は

「いたずらっぼい(処のある)女子」

ということに。

一応それらしい訳語を2, 3 お示し申し上げましたが、いずれにせよこの charming の邦訳は相当に難しい訳業のようです。

なかなか「これだっ」と言うのに当たりませんでした。

ですので、巡り巡っての話ですが、最後は無難な処でやはり charming の邦訳は「チャーミングな」に止めておいた方がいいのかもしれないね。

注)

写真は NTV ドラマ「前略お袋様」から借用させて戴きました。